

2024 年度 「中国 大連通信」

2024 年 6 月 13 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所 長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚

◆副所長 呂 俐 ◆職 員 畢 偉宸

松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～中国で普及する「モバイル決済」～

中国で買い物や食事をする上では、中国版 Amazon とも言われるアリババグループがサービスを提供する「支付宝（アリペイ）」と中国版 LINE とも言われる微信がサービスを提供する「微信支付（ウィーチャットペイ）」といったモバイル決済サービスが不可欠です。

今回は、これらの中国のモバイル決済事情について紹介します。

■中国のモバイル決済事情

中国では、「支付宝（アリペイ）」や「微信支付（ウィーチャットペイ）」といったモバイル決済サービスが普及しており、中国のキャッシュレス決済比率は 86%と日本の 39.3%を大きく上回ります。

中国のキャッシュレス決済の特徴として挙げられるのが、クレジットカードの普及率が低く、そのほとんど全てが「支付宝」や「微信支付」といったモバイル決済サービスによるものということです。町中の個人経営の飲食店や商店でさえもモバイル決済で支払いが完結し、近年ではお年玉も「支付宝」や「微信支付」で送金することが主流になっています。

日本では現金支払いのみの店も未だ多いですが、中国では「支付宝」や「微信支付」を使用できない店に出会ったことがありません。どこへ行くにも携帯一つで外出できるので非常に便利です。



※道端での個人販売もモバイル決済サービスを受付

しかし、この便利なモバイル決済を使用できるのは、中国国内に銀行口座を保有する駐在者などに限られていました。「支付宝」や「微信支付」に銀行口座を紐づけすることで、これらの決済サービスを使用することが出来ますが、出張者や旅行者はモバイル決済サービスを使用できませんでした。また、前述したようにクレジットカードの普及率が低く、キャッシュレス決済の急速な普及により現金決済に対応していない店も増え、出張者や旅行者は決済面に大きな問題を抱えていました。

これらの問題を受けて中国政府は、2024年3月に「決済サービスの更なる最適化と利便性向上に関する意見書」を発表しました。

■中国政府：決済サービスの利便性向上を指示

「決済サービスの更なる最適化と利便性向上に関する意見書」では、モバイル決済サービスが使用できない高齢者や訪中外国人に対し、多様な決済サービスを提供する為の措置を打ち出しています。

この意見書の主な内容は以下の通りです。

1. クレジットカードの受入れ環境を整備する。
商業施設、観光地、ホテル、病院などの主要な施設でのクレジットカード受入れ環境を整備する。
2. 現金の使用環境を継続的に整備する。
外国人が集まる空港や港、ホテルなどへの外貨両替所の増設。現金での支払い拒否に対する罰則強化やお釣りの準備を徹底させる。
3. モバイル決済の利便性の更なる向上。
銀行や決済機関の連携を強化し、決済サービスを改善する。飲食、宿泊、交通、医療などに関するプラットフォーム企業を支援し、訪中外国人のオンライン、オフライン上での決済サービスを整備する。
4. 消費者の決済手段を多様化させる。
一定の規模を超えた商業施設、観光地、病院、ホテルなどにおいて、クレジットカードやモバイル決済、現金など多様な決済手段の受入れ体制を整備する。
5. 銀行口座の関連サービスを向上させる。
銀行の各支店に訪中外国人や高齢者向けの優先レーンの設置を奨励し、銀行口座の開設プロセスを最適化させる。
6. 決済サービスの普及を強化。
商業施設、観光地、病院、ホテルなどに決済サービスに関する相談窓口を設置する。

■<例>「支付宝（アリペイ）」のクレジットカード紐づけ方法

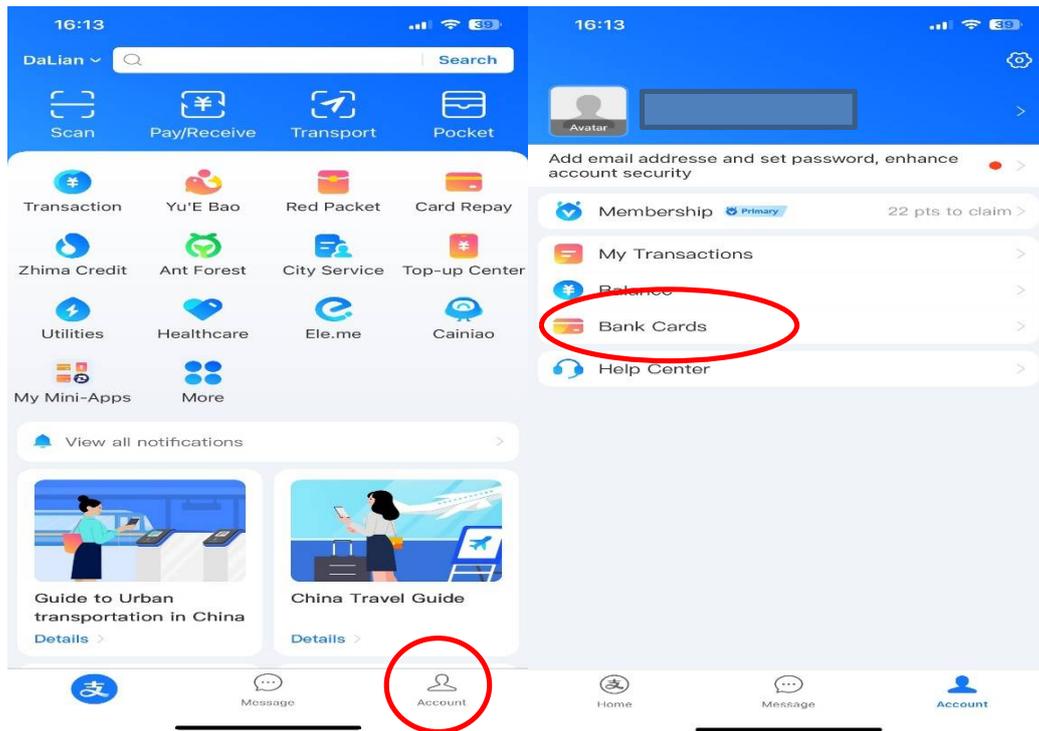
上記の意見を受けて、「支付宝（アリペイ）」は訪中外国人の取引上限額を1回あたり1,000米ドルから5,000米ドルへ、年間取引上限額を1万米ドルから5万米ドルへ引き上げました。

また、従前は中国語と英語の2言語だった多言語翻訳サービスを日本語を含む16言語へとそのサービスの対象を拡大しています。

「支付宝」や「微信支付」は、昨年7月からクレジットカードを紐づけすることも可能になり、今回は取引上限額を引き上げた「支付宝」におけるクレジットカードの紐づけ方法を紹介します。

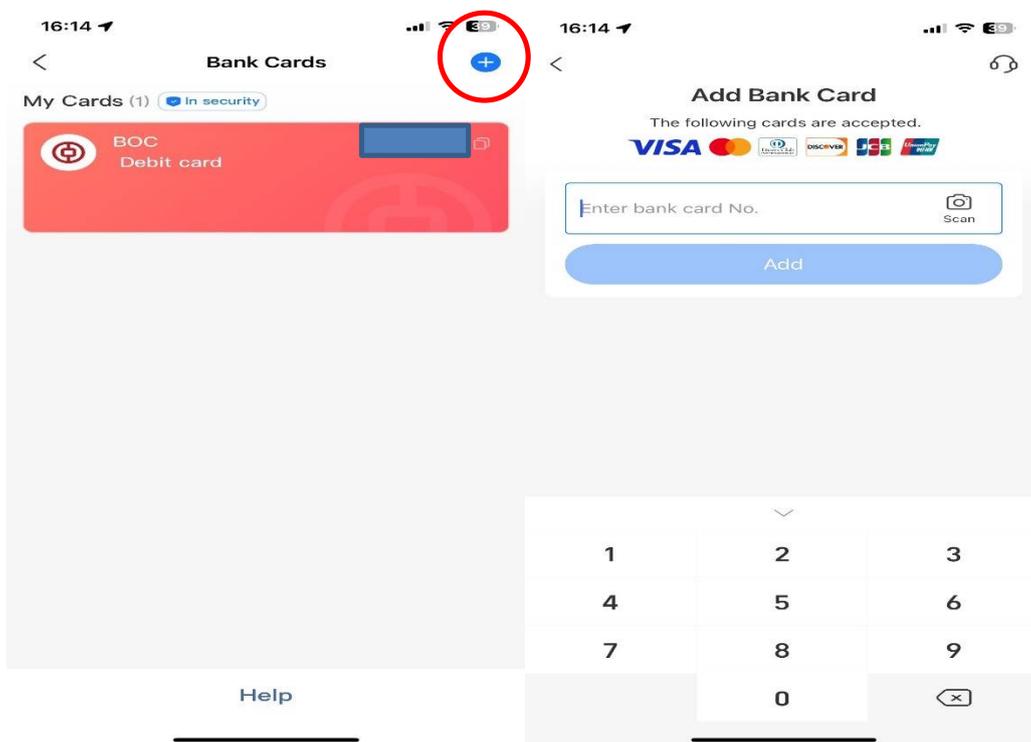
1. トップページ右下の Account をクリック

2. Bank Cards を選択



3. 画面右上の + をクリック

4. カード情報を入力



■大連のホットスポット<東港五街>

最後に SNS での拡散で全国的に人気になった大連のホットスポットを紹介します。そのホットスポットは、大連の東港と呼ばれるエリアに所在しており、海に向かって真っすぐ伸びた道路とビルの間から見える大型船が人気のスポットとなっています。10時50頃と16時50頃が大型船が通過し最も綺麗に見える時間帯で、付近は地元民と旅行客で大混雑します。またこの東港五街のすぐそばには、ベネチアを模して作られた東方水城もあり、見所豊富なエリアになっています。

多くの日系企業が進出し、北九州市とも友好都市である大連市には、美しい観光スポットだけでなく、ビジネスチャンスも豊富な街です。

今回紹介したように決済サービスの利便性も増し、益々便利になった中国・大連へ是非一度足を運んでみてください。不明な点、心配な点は当事務所が全力でサポート致します。



※大連のホットスポット大連市東港五街



※ベネチアを模して作られた東方水城